

平成25年 9月11日

一般社団法人和歌山県産業廃棄物協会 御中

建設副産物対策近畿地方連絡協議会 事務局長
(近畿地方整備局 企画部 技術調査課長)



「近畿建設リサイクル表彰」推薦案件の募集について

貴機関におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は国土交通行政に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、下記のとおり募集いたしますので、推薦案件がありましたら提出期限までに報告願います。

本表彰は、建設副産物対策近畿地方連絡協議会独自の取り組みとして、「循環型社会」の構築に向けた行動の輪を広げることを目的に、建設リサイクルの推進を自主的、かつ積極的に取り組んでいる「事業者」、「団体」又は「個人」の活動を賞するため、平成22年度に創設したものであります。

「施工部門」・「再資源化部門」・「技術開発研究部門」の3部門を設け、広範な取り組みを対象としております。

傘下企業等の建設リサイクルに関する取り組みの推薦案件がございましたら、ご応募のほど、よろしく願います。

敬 具

記

「近畿建設リサイクル表彰」推薦案件の募集

概 要：近畿地方において建設リサイクルに取り組んでいる個人、団体、事業所等の活動を賞するため、推薦案件を募集いたします。

募集期間：平成25年10月16日（水）必着

募集内容：詳細につきましては、別紙「応募要領」をご参照下さい。

また、ホームページ上でも追って掲載致しますので、ご確認下さい。

昨年度実績：下記の「建設副産物対策近畿地方連絡協議会」HPにも掲載しております。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/fukusan/hyoushou/jushou.html>

以上

平成25年度 近畿建設リサイクル表彰 応募要領

建設副産物対策近畿地方連絡協議会では、毎年、近畿地方で建設リサイクルに関する取り組みにおいて顕著な実績を挙げている個人・団体・事業所等を表彰する「建設リサイクル表彰」を実施しています。

このたび平成25年度の募集を開始しましたので、多数のご応募をお待ちしています。特に、従来から行われている建設リサイクル活動のみならず、新しい取り組みを実施して、他の範となるような案件がございましたら積極的な推薦をお願いします。

○ 応募締め切り 平成25年10月16日(水)(必着)

○ 審査スケジュール

1. 審査 : 平成25年11月を予定
2. 審査結果の内定通知 : 平成25年11月を予定
3. 表彰式 : 平成26年2月を予定

○ 提出先及び問い合わせ先

建設副産物対策近畿地方連絡協議会事務局 担当：笹嶋、佐藤
〒540-8586 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館
近畿地方整備局企画部技術調査課労働資材係
電話：06-6942-1141(代) FAX：06-6941-1812
<http://www.kkr.mlit.go.jp/fukusan/index.html>

主催 建設副産物対策近畿地方連絡協議会

<目 次>

表彰制度の概要、応募方法等	1
推薦一覧 様式	6
推薦書 様式	7
候補者の概要書 様式	8
<参考>建設リサイクルの取り組みの例について	13

表彰制度の概要、応募方法等

1. 目的

近畿地域において、建設リサイクルの推進を自主的、かつ積極的に取り組んでいる個人、団体、又は事業者に対し、建設副産物対策近畿地方連絡協議会がその活動を賞し、奨励することを通じ、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを充実させ、廃棄物などの循環資源が適正・有効に利用・処分される「循環型社会」の構築にむけた行動の輪を広げることを目的とします。

2. 主催

建設副産物対策近畿地方連絡協議会

3. 募集対象

循環型社会の形成に向け、近畿地域^{※1}における建設リサイクルに関する実践活動、事業活動、教育啓発活動、調査研究活動、その他これに類する活動に取り組む個人・団体・事業所等（以下「候補者」といいます）を対象に、その取り組みが近畿地方における循環社会形成に対して有益かつ、他の事業所等の範となる優れたものを対象とする。

※1：近畿地域とは、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県の一部（伊賀・名張市）を指す。

※2：表彰の対象となる具体的取り組みの例は<別紙2>を参照。

4. 賞の種類・部門

受賞者は、建設副産物対策近畿地方連絡協議会の各構成機関、府県産業廃棄物協会、府県解体業協会（組合）、一般社団法人 日本建築学会 近畿支部などから推薦のあった候補者のうち、次に設ける表彰区分ごとに審査委員会にて選定する。

(1) 会長賞

(2) 奨励賞（各奨励賞の対象分野は以下のとおりです）

部門の名称	対象分野
施工部門	建設工事現場等で取り組まれている建設リサイクルの取り組み及び啓発活動
再資源化部門	再資源化施設等における建設副産物の再資源化 等
技術開発研究部門	建設リサイクルに関する研究開発、論文発表、（建設工事現場以外での）教育啓発活動等

5. 募集方法

本表彰では、下記①～④の推薦機関を通じた推薦方式により「3. 募集対象」に定める候補者を募集します。

①建設副産物対策近畿地方連絡協議会の構成機関

②各府県産業廃棄物協会

③各府県解体業協会（組合）

④一般社団法人 日本建築学会 近畿支部

※ なお、①～④の機関からの自薦も可能。

※ 「技術開発研究部門」については、①～④の推薦機関の推薦によらない個人又は個別団体からの自薦も可能とします。(大学等研究機関、研究者による自薦)

6. 応募の方法

(1) 提出書類

推薦機関は、この推薦要領に定める様式により、①推薦一覧、②推薦書(候補者1件につき1通ずつ作成)、③候補者の概要書(候補者に作成を依頼し、内容を確認して下さい)を提出して下さい。併せて、活動の様子がわかる写真、参考資料(パンフレット等)を添付して下さい。

提出書類の様式、提出部数等は下表をご参照下さい。

この推薦要領(Microsoft word形式)は建設副産物対策近畿地方連絡協議会ホームページ(<http://www.kkr.mlit.go.jp/fukusan/index.html>)の建設リサイクル表彰コーナーからダウンロードできますのでご利用下さい。

建設副産物対策近畿地方連絡協議会構成機関が自薦する場合は、③、④のみを提出して下さい。

提出書類		書類の作成者	記入様式	提出部数 提出方法
①推薦一覧		推薦機関	6ページ	■提出部数 ・正本1部 ・副本(CD-ROM)1部 ■提出方法 ・郵送又は持参
②推薦書(1件の候補につき1通ずつ作成し、③候補者の概要書を添付して下さい)			7ページ	
③候補者の概要書*	個人・団体・事業所等 【様式】	候補者	8～13ページ	■④活動内容の資料については印刷物又は電子ファイルいずれも可
④活動内容の資料 (写真、パンフレット等)		候補者	任意	

※提出資料の審査の際、取り組み内容確認のため、追加資料を求めたり、取り組み現場の視察に伺う場合があります。

※また、技術開発研究部門については、論文等 研究内容が分かるものを添付して下さい。

(2) 提出期限

平成25年10月16日(水)(必着)

(3) 提出先

〒540-8586 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館
近畿地方整備局 企画部 技術調査課
建設副産物対策近畿地方連絡協議会事務局 担当：笹嶋、佐藤
電話：06-6942-1141(代) FAX：06-6941-1812

7. 推薦に当たっての注意事項

①推薦する際には、必ず事前に候補者の承諾を得ておいて下さい。

②推薦機関は、候補者に法令違反や係争・紛争、その他表彰対象者として相応しくない事項が無いかを確認のうえ推薦して下さい(推薦書のチェック項目をご活用下さい)。

なお、チェック項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

③過去に受賞した候補者を同じ取り組み内容で繰り返し推薦することはご遠慮下さい。過去受賞時とは別の取り組みであれば推薦可能です。なお、過去に受賞した企業の別の事業所、あるいは過去に受賞した建設会社や共同企業体が行う別の工事等は別の候補者と見なします。

また、過去受賞時の延長線上にある取り組みであっても、その後の拡大・発展が著しく上位賞の候補になると判断した場合は推薦可能です。その場合は、過去受賞時から拡大・発展したポイントについて、候補者の概要書の「3. 本表彰における過去の受賞歴」欄に記載して下さい。

④推薦機関は審査結果等については責任を負わないものとします。

8. 審査

建設副産物対策近畿地方連絡協議会に「建設リサイクル表彰審査委員会」を設置し、別紙1に定める「審査基準」に基づき、応募案件の審査を行います。

9. 結果の通知

推薦機関に結果（入賞内定または選外）通知を送付した後、入賞の内定した推薦者に内定通知を送付します（11月下旬を予定）。

10. 表彰式

平成26年2月に挙行予定。

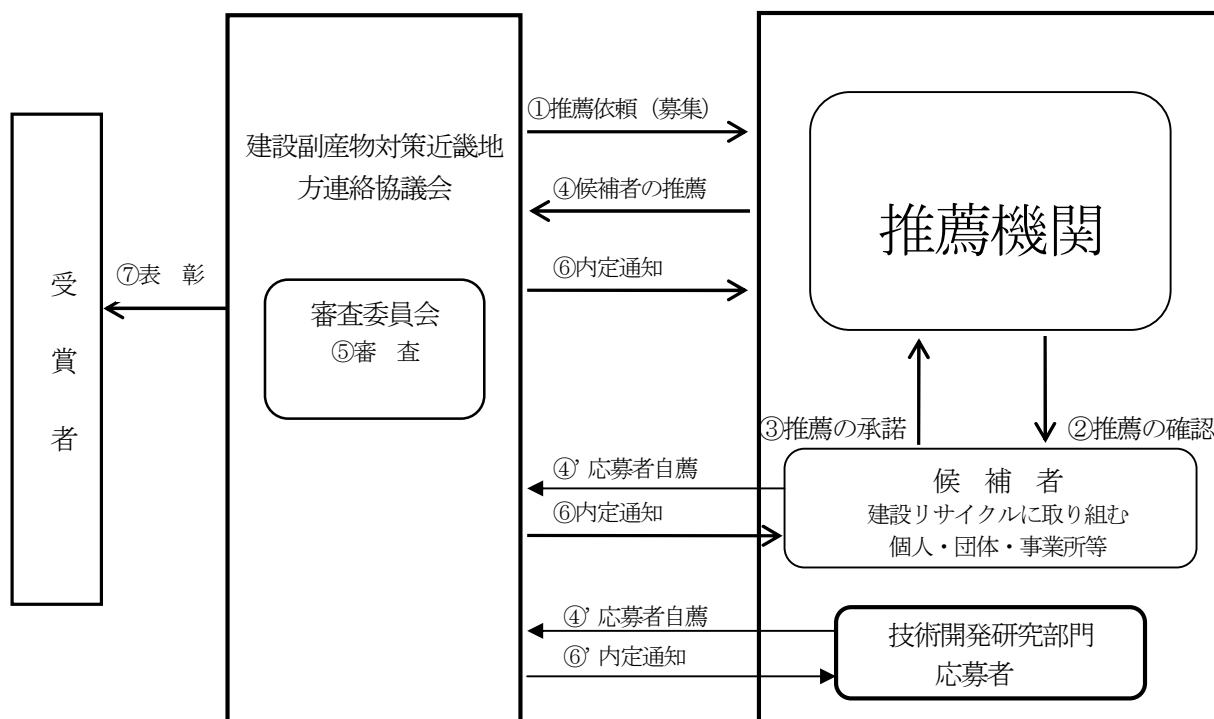
11. 個人情報の取り扱いについて

入賞案件については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会ホームページ上で紹介します。

また、入賞者の承諾を得た上で、今後PR等に活用させていただくことがあります。

推薦書、候補の概要書等に記載された個人情報は、本表彰の実施に関連する用途以外には使用いたしません。

12. 募集から表彰までの流れ



<別紙1>

審査基準

- 建設リサイクルの顕著な実績を上げている取り組みを行っている個人、団体、事業者等に対して次の事項で評価します。

評価項目	具体的な評価事項
リサイクル率、量の向上、発生抑制	
継続期間	同一の建設リサイクルに対する取り組みの継続性を評価する
対象品目・量等の実績、活動の効果	対象品目の範囲・対象量の実績、及び取り組みにより得られた効果（発生抑制、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する
リサイクルの質の向上	
地域性	近畿の特性を踏まえた活動を評価する
活動頻度	活動頻度を評価する。
独創性・先鞭性	独創性・先鞭性（製品、技術等の開発を含む）を評価する
波及効果、 啓発・教育効果	他社の建設リサイクルへの取り組みに与えた効果を評価する
その他評価	当該主体の特性、その他を評価する

※ 評価の対象とならない取り組みの例

- 既に近畿地方で普及し、標準的工法として採用されている技術またはそれに類する技術による取り組み
 - ISO、エコアクション21等既に普及している環境・品質管理基準等による取り組み
 - 3Rに貢献しない取り組み
 - 取り組みによる効果（技術開発研究部門を除く）を数値又はその他資料で確認できない取り組み
- 本賞を表彰後、次のような事実が判明した場合、主催者はその表彰を取り消すことができます。
 - 表彰対象が、違法行為などにより社会的に著しい損害を与える場合。
 - 表彰対象が、本制度の趣旨に著しく反する事項に該当すると認められる場合。

建設リサイクルの取り組みの例について

1. リデュース (Reduce=発生抑制)

住宅・社会資本をつくる時に使う資源の量を少なくすることや、廃棄物の発生を少なくすること等をいう。

(取り組みの例)

- 住宅・社会資本をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うよう工夫する。
- 住宅・社会資本を設計する時に、出来るだけ長く使えるような工夫をする。
- 簡易梱包や簡易包装に努める。
- 維持管理等のアフターサービスを充実することにより、建築物の長期使用促進に努める。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大事に使う。
- スケルトン・インフィル (S I) 住宅のような長期間の耐久性を有する構造躯体 (スケルトン部分) と住居者の生活の変化に対応できる内装・設備 (インフィル部分) を分離した住宅とする。
- 汚染土壌の無害化処理や土壌改良により現場内で再利用することで建設発生土の最終処分場等への搬出量を抑制する。 等

2. リユース (Reuse=再使用)

使用済み製品やその部品等を繰り返し使用することをいう。

(取り組みの例)

- 住宅・社会資本を設計する時に、構造躯体等のリユースがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった建材を他の工事で再度利用する。 等

3. リサイクル (Recycle=再生利用)

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することをいう。

(取り組みの例)

- 住宅・社会資本をつくる時に、できるだけリサイクル原材料を使う。
- 建材をつくる時に、使用後のリサイクルがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。
- 建設現場で発生した副産物・産業廃棄物のリサイクルに努める。
- 資源ゴミの分別回収に協力する。
- リサイクル製品を積極的に利用する。 等

4. 技術開発研究・普及啓発

教育・研究機関の職員及び学生、又はNPO等を含む建設リサイクル (3R) に広く係わる個人、団体、事業所による、建設副産物の3Rの発展に資する新たな技術開発、基礎的研究の取り組み、及び建設リサイクルの普及・啓発に寄与する取り組みなど。

平成25年度近畿建設リサイクル表彰制度
推 薦 一 覧

平成 25年 月 日

推薦機関名： _____

推薦部門	候補者名 (連名による候補の場合は、同じマスに名前を列記して下さい)	本表彰制度における 過去の受賞実績

※ 推薦（自薦）部門については、事務局の事前確認又は審査委員会の審議において変更を依頼する場合があります。（ H24 実績：施工部門 → 再資源化部門 ）

平成25年度近畿建設リサイクル表彰
推 薦 書

平成25年 月 日

建設副産物対策近畿地方連絡協議会 御中

(推薦機関名)

(役職・氏名)

印

建設リサイクル表彰の候補として下記の者を推薦します。

記

1. 候補者名 (連名による候補の場合は、名前を列記して下さい)

--

2. 推薦部門 [_____]

3. 推薦機関の連絡先等

推薦機関名		
住所		(〒 _____)
記入担当者※	氏名	
	所属部署	
	電話	
	FAX	
	E-mail	

※この推薦の件に関する連絡・問い合わせ等に対応できる人を記入して下さい。

※電話又はFAX等については、誤りの無いよう正確に記入ください。

4. 推薦機関における候補の選定方法 (例：担当部署又は審査会設置による選定、等)

[_____]

5. コンプライアンス等に関するチェック

上記候補者の推薦に当たり、以下の事項を確認し、該当する場合は□欄にチェックマーク(✓)を付けて下さい。

- 候補者に法令違反の事実はない・・・・・・・・・・・・□
- 係争・紛争等の問題は無い・・・・・・・・・・・・□
- その他受賞者として相応しくない事項はない・・・・・・・・・・・・□

注) これらの項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

候補者の概要書

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 ^{※1} (個人・団体・事業所等の名称)	(ふりがな) ----- (個人の場合この欄に押印) 印
②代表者役職・氏名 (団体・事業所の場合のみ)	(ふりがな) ----- 印
③連絡担当者の所属部署・役職・氏名 (団体の場合のみ)	(ふりがな) -----
④連絡先	住 所：(〒 —) 電 話： F A X： E-mail：

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

(連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印して下さい。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して下さい)

①候補者名 ^{※1} (個人・団体・事業所等の名称)	(ふりがな) ----- (個人の場合この欄に押印) 印
②代表者役職・氏名 (団体・事業所の場合のみ)	(ふりがな) ----- 印
③連絡担当者の所属部署・役職・氏名 (団体の場合のみ)	(ふりがな) -----
④連絡先	住 所：(〒 —) 電 話： F A X： E-mail：

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

2. 建設リサイクル活動の実施内容

今回、推薦を受ける建設リサイクル活動の内容について記入して下さい。なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げて下さい。

注) 審査では4ページ「審査基準」に示す項目について評価します。これらの項目を評価できるように、以下の記入欄は漏れなくご記入をお願いします。なお、該当しない項目については「該当なし」と記入してください。

①活動テーマ名	今回、推薦を受ける建設リサイクル活動の内容を端的に表すテーマ名を、50文字以内で簡潔に付けて下さい。表彰状はこの欄に記載された名称のとおり作成します。 (記入例:「〇〇に再生材を〇%使用」等
②活動の概要	建設リサイクル活動の概要を1,000字程度で記入して下さい ^{※2} 。また、活動の様子が分かる写真等(デジタルデータまたはプリント)を添付して下さい。

※2 過去の受賞者の活動概要(表彰結果発表資料)が建設副産物対策近畿地方連絡協議会(<http://www.kkr.mlit.go.jp/fukusan/index.html>)の建設リサイクル表彰のコーナーからダウンロードできますので、記入の際の参考にして下さい。

③建設リサイクル活動の区分	実施している活動の区分について、該当するものに○を付けて下さい（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、6ページの「取り組みの例」を参考にして下さい。 <table border="1" data-bbox="435 309 1348 432"> <tr> <td>リデュース</td> <td>リユース</td> <td>リサイクル</td> <td>啓発普及等</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																												
リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																														
④活動開始時期・継続年数	建設リサイクル活動を開始した年月及び継続年数を記入して下さい。																																																
⑤対象品目・量等の実績	建設リサイクル活動の対象品目毎に、過去3年間にリデュース・リユースまたはリサイクルした量の実績を記入して下さい（重量、体積、数量の単位は適宜変えて結構です）。 <p data-bbox="416 712 596 741"><リデュース></p> <table border="1" data-bbox="448 745 1390 1068"> <thead> <tr> <th>年度 \ 品目</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="416 1115 571 1144"><リユース></p> <table border="1" data-bbox="448 1149 1390 1471"> <thead> <tr> <th>年度 \ 品目</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="416 1518 596 1547"><リサイクル></p> <table border="1" data-bbox="448 1552 1390 1874"> <thead> <tr> <th>年度 \ 品目</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table>	年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³
年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
年度 \ 品目	H22年度	H23年度	H24年度																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														
	t m ³	t m ³	t m ³																																														

<p>⑥活動による効果</p>	<p>建設リサイクル活動の実施内容について、従来の取り組みとの違いや効果を、可能なものは数値で具体的に記入して下さい。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
<p>⑦活動地域の範囲、他の建設リサイクル活動主体や他地域との連携協力、地域密着性</p>	<p>建設リサイクル活動の実施地域の範囲を記入して下さい。</p> <hr/> <p>他の建設リサイクル活動主体や他地域との連携・協力を行っている場合は、その内容を具体的に記入して下さい。</p> <hr/> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた建設リサイクル活動である場合、その内容を具体的に記入して下さい。</p>
<p>⑧活動の頻度</p>	<p>建設リサイクル活動の実施頻度を記入して下さい。</p>

⑨独創性・先鞭性	他にあまり例を見ない独創的な建設リサイクル活動や、他に先駆けた先進的な取り組みを行っている場合は、その内容、及び独創的・先進的であると考える理由を記入して下さい。						
⑩啓発普及・教育活動の実施、波及効果	<p>建設リサイクルに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入して下さい。</p> <p>他のグループ・団体・事業所等の建設リサイクル活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入して下さい。</p>						
⑪他の企業等の協力	<p>他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て建設リサイクル活動を行っている場合、以下を記入して下さい。</p> <p>(a) 協力を得ている内容を記入して下さい。</p> <table border="1" data-bbox="435 1081 1402 1438"> <thead> <tr> <th data-bbox="435 1081 716 1126">協力企業の業種</th> <th data-bbox="716 1081 1402 1126">協力を得ている事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 1126 716 1283"></td> <td data-bbox="716 1126 1402 1283"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1283 716 1438"></td> <td data-bbox="716 1283 1402 1438"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握、並びに協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入して下さい。</p> <div data-bbox="435 1556 1394 1760" style="border: 1px solid black; height: 90px; width: 100%;"></div>	協力企業の業種	協力を得ている事項				
協力企業の業種	協力を得ている事項						
⑫その他活動の工夫点	上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入して下さい。						

3. 本表彰における過去の受賞歴

過去に本表彰制度で賞を受けたことがある方は、以下をご記入下さい。

受賞年度	賞の種類 〔会長賞 奨励賞〕	受賞した建設リサイクル活動の内容 (該当する方に○を付けて下さい)		過去受賞時の団体が現在と異なる場合、当時の名称を記入して下さい
		(A) 今回の応募内容に関連したテーマの活動	(B) 今回の応募内容とは別テーマの活動	

上記で (A) に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント (例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、建設リサイクルの実績量の増加、活動地域の拡大等) について、下記の例を参考に具体的に記入下さい。

(記入例)

	過去 (年度) 受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
建設リサイクル活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)		
建設リサイクル対象品目について	・	
建設リサイクルの実績量について		
活動の実施地域について		
活動の参加者数について		
活動の質的な向上について		
上記以外の進展事項、アピールしたいポイント		